施策名:結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進

事業名	担当課・室名	ページ	
おおいた出会い応援事業	こども未来課	1 /	5
不妊治療費助成事業	こども未来課	2 /	5
子ども医療費助成事業	こども未来課	3 /	5
周産期医療体制推進事業	健康づくり支援課	4 /	5
小児救急医療体制整備推進事業	医療政策課	5 /	5

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

車業タ	おおいた出会い応	大摇車業	事業期間 平	区成 97	年度 ~ 今和	年度		一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 〜子育て満足度日本一の実現〜
于未石	арару //сЩ Д (-//с	N及 于 未	于未列间	1,4%, 2.1	一次 1344	T/X	施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課	(室) 名	こども未来課		評価者	こども未来課長 御手洗 洋子

[1. 現狀·課題、目的]

現状 ・ 若者の多くは結婚を希望するものの「適当な相手と出会えない」との理由から、未婚化、晩婚化が進んでいる。若い世代の結婚への希望を実現するため、県民総参加で若者の婚活を応援する機運醸成とともに、成婚に繋がる取組の実施が課題となっている。

事業の目的

若い世代の結婚や子どもについての希望を叶えるために、出会いサポートセンターを設置し、1対1のお見合いや、広域的な出会いの場(婚活イベント)を提供するとともに、県内の出会い・結婚に関するプラスイメージ醸成のための広報を実施する。

[2. 事業内容]

(単位:千円)

	活動	番号	主な活動の予算額	コス	, F	29年度(決算)	30年月	度(決算)	元年度	(予算)					
	ポートセンターの設置・運営 を総合的に行うセンターを設置	> 宝施	1	16, 323	総コス	スト	24, 437		35, 615	4	3, 351				
委託先:	(株)トリアナ 育てポジティブキャンペーンD	- 天旭	2	6, 326	事業	費	17, 437		28, 615	3	6, 351				
結婚等の	プラスイメージを醸成するため	<u>ti</u>	3	5, 280	(うち一点	段財源)	7, 460		14, 319	1	6, 779				
③広域的な	(株)電通九州大分支社 出会いの場づくり		4		人件	費	7, 000		7,000		7,000				
	出会いサポートセンターで結婚を希望する若者を対象とした婚活イベントを実施(年12回) 委託先:(株)トリアナ							27, 929	職員数	(人)	0.70		0.70		0.70
	指煙名 (単位) 達成度 2.9 年度 3.0 年度 元年度 最終達成					最終達成 (年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度		評価
	結婚支援の働きかけを行った	目標値	200	50	50			広域的な出会いの場への参	目標値	200	480				
注新 护插	企業数(社) 企業数(社)	実績値	209	50			58%	加者数(人)	実績値	449	579			19%	
伯男伯倧	正未数(压)	達成率	104.5%	100.0%				Marie SX ()C)	達成率	224. 5	120.6%				ا ہ ا
	「OITAき)なみかけ、おごこ、	目標値	498	491					目標値						7 a
	「OITAえんむす部」ポジティ ブキャンペーン宝施同数 (回)	実績値	878	1,634			23%		実績値						
	ブキャンペーン実施回数(回)								達成率						

「3. 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

	指標名 (単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標	出会い・結婚に関する支援を	目標値	14	16	18			市町村や民間団体等、県内の婚活支援団体を対象とした情報交換会を実施し、県外専門家による
	実施している市町村数(市町	実績値	18	18			a	助言や婚活支援に取り組む団体の事例発表等、結婚支援をするために必要な情報やノウハウ等を共
	村)	達成率	128.6%	112.5%				有した。

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題

今後の方向性

終〕

継続・見直し

例外的に継続

廃止

・出会いサポートセンターのお見合いによる成婚数の増加 ・企業、団体等の結婚支援への参画に向けた取組促進

今後の事業方針

- ・出会いサポートセンターにおける1対1のお見合いサービスの充実
- ・九州・山口各県と連携し、企業・団体が結婚支援に取り組みやすくするための啓発冊子の作成・配布
- ・メールマガジン「あかい糸めーる」を活用した市町村、民間等の婚活イベントに係る広報の実施

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

事業名	不妊治療費助成事		事業期間 平成	成 15 :	年度 ~ 令和	年度		一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 〜子育て満足度日本一の実現〜
于未石	[11911日]从	# 术	于未为[的] 1 //	, 10 ·	十尺 174	T/X	施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室	室)名	こども未来課		評価者	こども未来課長 御手洗 洋子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題

若年層を中心に、経済的な理由で高額な特定不妊治療に踏み込めない夫婦が多い。

事業の目的

子どもを産みたい人が産める環境を整備するため、特定不妊治療を行った夫婦に対し助成する。

[2. 事業内容]

(単位:千円)

	活動	か名及び活	動内容				番号	主な活動の予算額	コス	<u> </u>	9年度(決算)	30年度(決算)	元年度((予算)
							1	213, 810	総コス	٠ ٢	161, 861	148, 512	219	9, 413
①不妊治療 特定不妊	治療を行った夫婦に対する助成	į					2	603	事業犯	費	156, 861	143, 512	214	4, 413
【助成実 ②妊活推進	續(大分市を除く)】 H28 啓発事業	617件 H	129 517件	H30 4	89件		3		(うち一般	対源)	64, 663	37, 183	117	7, 512
短大や専	門学校、企業などに出向き啓発				4		人件	費	5, 000	5,000	į	5,000		
								214, 413	職員数((人)	0.50	0. 50		0.50
	指標名(単位) 達成度 29年度 30年度 元年度 最終達						評価 割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度 最終達成 年度	成 評価 (ま) 割合	評価
	特定不妊治療の補助・助成市	目標値	18	18	18				目標値					
江新七擂	町村(市町村)	実績値	17	18			100%		実績値					
伯男伯倧	-141 (11:-141)	達成率	94.4%	100.0%					達成率					╛╻
		目標値	14	14	28				目標値					7 a
	出前講座実施回数(回)	実績値	10	14			0%		実績値					
		達成率	71.4%	100.0%					達成率			TIII 1000/1= k à k :		

[3. 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標	特定不妊治療の助成件数	目標値	517	489				高額な不妊治療費を保険適用と同様の3割程度の負担となるよう助成金を拡充することで、不妊
	(件)	実績値	517	489			a	治療に伴う経済的負担の大幅な軽減が図られ、子どもを産みたい人が産める環境づくりが促進され
	※件数増目的でないため目標未記入	達成率	100.0%	100.0%				た。

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題

今後の方向性

終〕

継続・見直し

例外的に継続

廃止

- 助成制度の周知
- 助成効果の測定方法の検討
- ・若年層に対する妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発

今後の事業方針

- ・助成制度の更なる周知と利用促進を徹底
- ・助成効果の測定と検証を行い、必要に応じて助成内容の見直しを実施

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

事業名	子ども医療費助成事業	事業期間 昭和 48	年度 ~ 令和 年度	政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 〜子育て満足度日本一の実現〜
于未归	」 C O 区	李米州町 町市 王 0	十次 月4日 十次	施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進
総合評価	A 継続・見直し	事業実施課 (室) 名	こども未来課	評価者	こども未来課長 御手洗 洋子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題

子どもを育てやすい環境の整備のひとつとして、子どもが病気の時にいつでも 受診できるよう子育て家庭の経済的負担の軽減が求められている。

事業の目的

子どもの傷病の早期受診と治療の促進を図るため、子どもの医療費(未就学児は入通院、小学生~中学生までは入院)を助成する。

[**2.事業內容**] (単位:千円)

		活動名及び活	動内容				番号	主な活動の予算額	コス	١	29年度(決算)	3 0 年	度(決算)	元年度(予算)
							1	947, 068	総コス	くト	933, 998	9	24, 859	949	9, 068
							2		事業	費	931, 998	9	22, 859	947	7, 068
①子ども医 子どもの	療費助成 医療費助成を実施する	市町村への補助(全18市町村)				3		(うち一角	段財源)	931, 998	9	22, 859	947	7, 068
							4		人件	費	2, 000		2,000	4	2,000
							計	947, 068	職員数	(人)	0.20		0. 20		0.20
	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価 割合	指標名(単位)	達成度	29年度	3 0 年度	元年度	最終達成 (年度)		評価
		目標値	18	18	18				目標値						
活動指標	補助市町村数(市町村		18	18			100%		実績値						
伯勒加利尔		達成率	100.0%	100.0%					達成率						
		目標値							目標値						† a
		実績値							実績値						
		達成率							達成率		- A 31) HINK II	-	- 1. S. J		

[3. 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標	市町村が助成した件数(件)	目標値	87, 798	85, 039				
	※件数増加が目的でないため、目	実績値	87, 798	85, 039			a	医療費の助成により、子どもの保健の向上と子育てに伴う経済的負担の軽減が図られ、子どもを 安心して生み育てられる環境づくりが促進された。
	標値未記入	達成率	100.0%	100.0%				タイプンでエッグ音でもないの 条名 フマーケル・促進されいた。

[4.**今後の課題と方向性等**] 今後の課題

・無料化に伴う病院のはしごによる医療費の増大や地域でばらつきのある小児医療体制整備への 対応

今後の事業方針

今後の方向性

終了

継続・見直し 例外

例外的に継続

廃止

・子ども医療費に対する助成事業は、全国全ての市区町村で実施されていることから、国において制度化が必要という考えのもとに制度創設を要望

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

事業名	周産期医療体制技	华 進事業	事業期間 平成	₩ 99	年度 ~ 令和	年度		一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 〜子育て満足度日本一の実現〜
于未石		正匹于未	于未列间 I 从	X 2 2 ·	T/X 13.4H	十及	施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)	室)名	健康づくり支援課	Į.	評価者	健康づくり支援課長 藤内 修二

[1. 現状・課題、目的]

現状 課題

不採算部門である周産期母子医療センターの医療体制の維持及び全国平均より 高い水準にある周産期死亡率の改善が課題である。

事業の目的

周産期母子医療センターの運営費を補助することにより、医療体制の維持を図る。 死亡症例の調査・検討を行い、周産期死亡率の改善を図る。

[2. 事業内容]

(単位:千円)

	活動名及び活動内容							主な活動の予算額	コス	١ 2	9年度(決算	30年月	度(決算)	元年度(予算)
	子医療センター運営費補助 弱院、アルメイダ病院、中津市民病	院 大分大学	2医学部附属:	寅院 別府医 第	をセンター)		1	34, 622	総コス	. ト	29, 709)	58, 347	58	8, 844
周産期セ	ンターの人件費、材料費等に対		E 1	11/200 20111122	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		2	1,310	事業	費	26, 709)	55, 347	58	5, 844
(大分県立病	:児担当医手当補助 県立病院、大分大学医学部附属病院、アルメイダ病院、別府医療センター) :児担当医師手当に対する補助							694	(うち一般	対源)	597		594		642
③周産期医	生児担当医師手当に対する補助 産期医療協議会等運営事業						4		人件	費	3, 000)	3,000	(3,000
	周産期医療協議会の開催(1回)、同協議会専門部会の開催(2回) 周産期死亡症例検討会の開催(2回)						計	36, 626	職員数	(人)	0.30)	0.30		0.30
	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価 割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度		評価
	運営費補助を行った施設数	目標値	3	3	5				目標値	41	31	31			
活動指標	連沓貨補助を打りた施設数 (施設)	実績値	3	5			95%	死亡症例検討数(件)	実績値	42	31			2%	
伯男伯倧	達成率 100.0% 166.7%						達成率	102.4%	100.0%				ا ہ ا		
	新生児担当医師手当への補助・	目標値	3	3	4				目標値						1 a
	を行った施設数 (施設) ――――――――――――――――――――――――――――――――――――				4%		実績値								
	C 17 2 / C/MERX 3X (MERX)	達成率	100.0%	133.3%					達成率	ar (matrix)			- 1. 5 1		

[3. 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

	指標名(単位)	達成度	29年度	3 0 年度	元年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標	周産期死亡率(出産千対:5年平均) ※全国平均値以下を目標とするため、目標値未記入	目標値	3. 5	3. 3			a	周産期死亡率は年によって大きく変動するものの、周産期母子医療センター等への継続的な
		実績値	3.8	3.0				等により、概ね低減傾向にある。
		達成率	91.4%	109.1%				直近15年間の5年平均推移 4.4(H15−H19) → 4.5(H20−H24) → 4.0(H25−H29)

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題

今後の方向性

終了

継続・見直し

例外的に継続

廃止

・周産期医療体制の維持

・ 周産期死亡率の改善

今後の事業方針

- ・引き続き補助事業等を実施し、周産期医療体制を維持
- ・周産期医療協議会等と連携し、周産期死亡症例の検討を進め、産科医療機関への情報提供を推進

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

事業名	小児救急医療体制	事業期間 平成 15 年度 ~ 令和 年度			年度	政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 〜子育て満足度日本一の実現〜	
于术石	事未有 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		于未为11月 179	,,, 10 -	T/X 13.1H	T/X	施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室	室)名	医療政策課		評価者	医療政策課長 一丸 淳司

[1. 現状·課題、目的]

現状 課題

小児科医の不足や地域的な偏在があり、地域の実情に応じた体系的、効果的な 小児救急医療提供体制の整備が求められている。

活動名及び活動内容

事業の目的

子どもを安心して生み育てられる環境づくりを推進するため、体系的で効果的な小児救急医 療の体制を整備する。

コスト

[2. 事業内容]

(単位:千円)

), H), O 1H	12931 3 11				ш				1 34 10 1317			7	* 3.7
①小児救急医療提供体制の整備 小児救急電話相談の実施や休日・夜間に小児救急患者を受け入れる医療機関に対する運営費の								91, 753	総コスト		92, 369	93,	903	98	8, 550
									事業	費	89, 369	90,	903	95	5, 550
									(うち一般財源) 2,		2, 993	3,	221	3, 613	
切	助成								人件	費	3, 000	3,	000	(3, 000
		計	91, 753	職員数	(人)	0.30	(0. 30		0.30					
	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価 割合	指標名 (単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	終達成 年度	注 評価) 割合	評価
		目標値	365	365	365				目標値						
NC 351 115 175	小児救急医療体制整備日数	実績値	365	365			100%		実績値						
活動指標	(目)	達成率	100.0%	100.0%					達成率						_
		目標値							目標値						1 a
		実績値							実績値						
		達成率							達成率						

番号

主な活動の予算額

[3. 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

29年度(決算) 30年度(決算) 元年度(予算)

	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標	小児の重症患者を受け入れる 二次救急医療体制が整備され た小児医療圏の割合 (%)	目標値	83.3	83. 3	83.3		a	
7,70,13,11,11		実績値	83.3	83.3				小児救急患者の受入体制整備や小児救急電話相談実施により、保護者が安心して子育てができる 環境の整備が図られた。
		達成率	100.0%	100.0%				然ので正幅で回うれて。

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の方向性 継続・見直し 例外的に継続 今後の課題 終了 廃止 ・小児救急医療体制の維持

今後の事業方針

・子どもを安心して生み育てられる環境整備を引き続き推進